証券コード●4559

健康づくりは幸せづくり

Making Health is making happiness

第59期

中間株主通信

平成24年4月1日～平成24年9月30日

Contents

株主の皆様へ……P.1
営業の概況(連結)……P.3
通期の見通し／研究開発の状況……P.5
研究開発パイプライン……P.6
株主様ご優待のお知らせ……P.7
財務諸表(連結)……P.8
会社情報……P.9
株式情報……P.10
株主メモ

ゼリア新薬
ZERIA

株主の皆様へ

代表取締役社長

伊 部 幸 顕

Zoom in on healthcare
健康へのニーズに焦点を

Excel in quality at every level
企業活動すべてにベスト・クオリティの追求を

Reach out to the world
世界に目を向けて

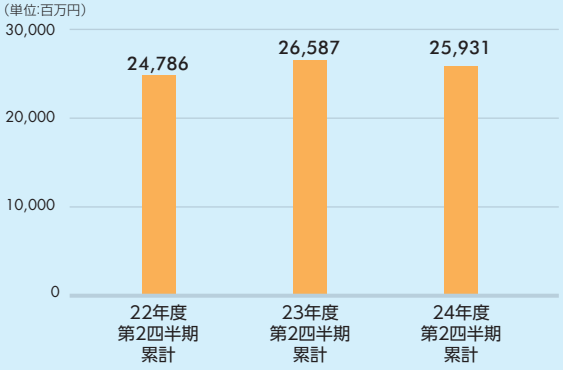
Inspire confidence in management
信頼と期待に応える経営を

Achieve our potential
事業発展の基盤づくりを

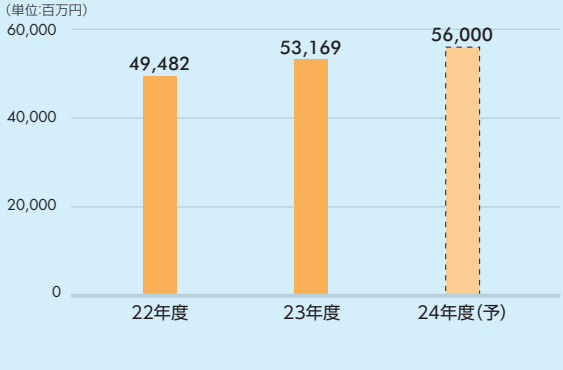
Z·E·R·I·A Five コーポレート・スピリッツ/企業理念

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。
第59期中間(第2四半期連結累計期間)の事業概況に関しまして、ここにご報告させていただきます。

売上高



通期売上高

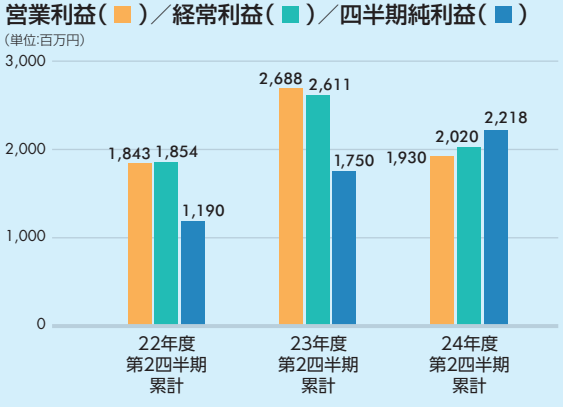


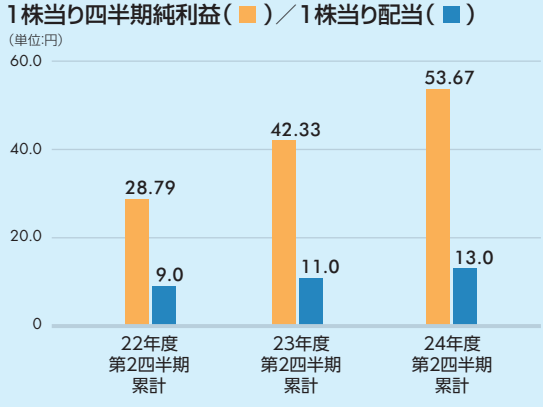
当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等を背景に緩やかに回復してまいりましたが、長期化する円高や欧州財政危機の深刻化に加え、世界経済の減速懸念などもあり、先行き不透明な状況下で推移いたしました。

医療用医薬品業界におきましては、本年4月に薬価改定が行われるとともに、後発医薬品の使用促進などの医療費抑制策が引き続き推進されており、またOTC医薬品市場におきましても消費低迷により市場競争が激化するなど、ともに厳しい状況下で推移いたしました。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間の売上高は259億31百万円（前年同四半期比2.5％減）となりました。一方、利益につきましては、売上高の減少ならびに広告宣伝投資をはじめとして販売費及び一般管理費が増加したことにより、営業利益19億30百万円（前年同四半期比28.2％減）、経常利益20億20百万円（前年同四半期比22.6％減）となりましたが、四半期純利益につきましては、債務免除益等を特別利益に計上していることから、22億18百万円（前年同四半期比26.8%増）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の海外売上高比率は、13.2％となりました。





営業の概況（連結）

医療用医薬品事業

DATA

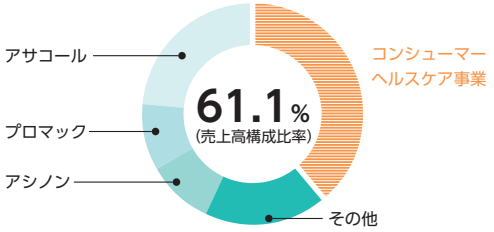
売上高

157億85百万円

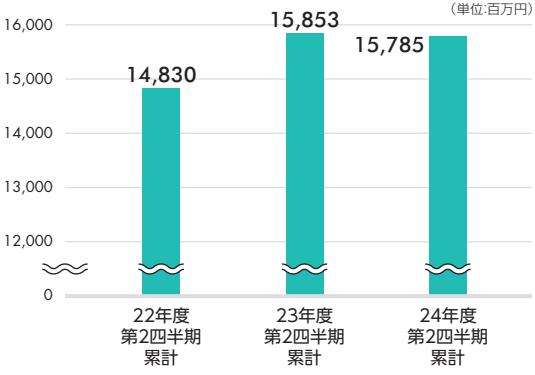
（前年同四半期比 0.4%減）

主要製品売上高

アサコール	60.6億円
プロマック	25.3億円
アシノン	25.0億円



医療用医薬品事業連結売上高



当事業におきましては、プロモーションコードの遵守を基本に、MR（医薬情報担当者）の資質の向上と学術情報活動の一層の充実を図ってまいりました。

主力製品である潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール®」につきましては、国内外において市場浸透に一層注力したことにより売上を拡大し、市場シェアを伸長させました。一方、H_2受容体拮抗剤「アシノン®」、亜鉛含有胃潰瘍治療剤「プロマック®」などの製品につきましては、本年4月の薬価改定の影響を受けて苦戦いたしました。

以上の結果、当事業の売上高は、157億85百万円（前年同四半期比0.4%減）となりました。

コンシューマーヘルスケア事業

DATA

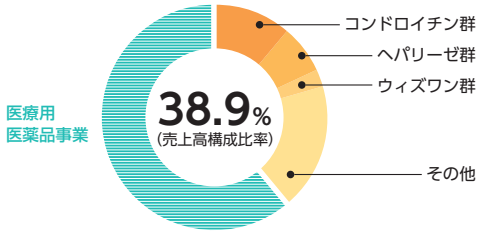
売上高

100億43百万円

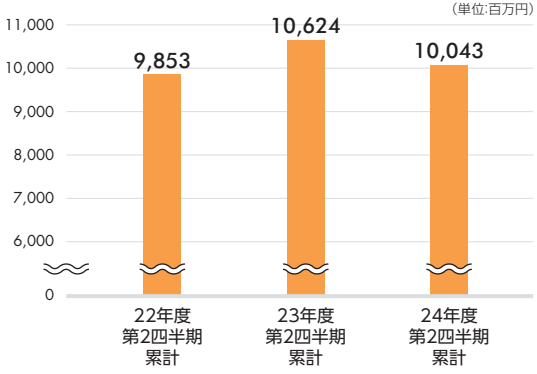
（前年同四半期比 5.5%減）

主要製品売上高

コンドロイチン群	29.0億円
ヘパリーゼ群	17.9億円
ウィズワン群	6.5億円



コンシューマーヘルスケア事業連結売上高



当事業におきましては、超高齢社会が進展する中、生活者のセルフメディケーションをサポートする製品の供給を通じて市場構築を進めてまいりました。

主力製品である「ヘパリーゼ®群」につきましては、テレビCM等の広告宣伝投資を積極的に行い製品認知度向上に努めた結果、売上を大きく拡大いたしました。なかでもコンビニエンスストア向けの「ヘパリーゼ®W」（清涼飲料水）は、昨年の発売以来、順調に売上を拡大しております。また植物性便秘薬「ウィズワン®群」につきましても、堅調に推移いたしました。一方、「コンドロイチン群」につきましては、引き続きテレビCMを放映するなど販売活動に注力し、圧倒的な市場シェアを堅持いたしましたが、個人消費の低迷などの影響を受けて苦戦いたしました。

以上の結果、当事業の売上高は、100億43百万円（前年同四半期比5.5%減）となりました。

通期の見通し／研究開発の状況

通期の見通し

売上高につきましては、第3四半期以降、主力製品である「アサコール®」や「ヘパリーゼ®群」等の一層の売上拡大を見込んでいることから、通期では前期に比べ増収を予想しております。

一方、利益面につきましては、第3四半期以降は広告宣伝活動の積極的展開などによる経費の増加を見込んでいることから、通期ではわずかな伸びに止まる見込みです。

これらの結果として、期初の予想通り、売上高560億円（前期比5.3%増）、営業利益46億円（同0.7%増）、経常利益45億円（同1.9%増）、当期純利益32億円（同11.8%増）を見込んでおります。

	第58期	第59期（予想）
売上高	531億69百万円 （前期比 7.5%増）	560億円 （前期比 5.3%増）
営業利益	45億68百万円 （前期比 38.0%増）	46億円 （前期比 0.7%増）
経常利益	44億17百万円 （前期比 39.8%増）	45億円 （前期比 1.9%増）
当期純利益	28億61百万円 （前期比 55.3%増）	32億円 （前期比 11.8%増）

研究開発の状況

研究開発部門におきましては、最重点領域である消化器系領域の新薬パイプライン強化に取り組む中、Tillotts社より導入した「Z-206（アサコール®）」は協和発酵キリン株式会社と共同でクローン病を対象としたフェーズⅡを進めております。また、中国ではTillotts社と共同で、潰瘍性大腸炎を対象としたフェーズⅢを進めております。世界で初めての機能性ディスペプシア治療剤と期待されている自社オリジナル品の「Z-338（予定製品名「アコファイド®」）」は、国内では製造販売承認申請中、欧州ではフェーズⅢ準備中です。「Z-103(プロマック®)」につきましては、味覚障害を対象とした効能追加のフェーズⅢを実施しております。また、韓国SKケミカル社が胃潰瘍・胃炎治療剤として韓国で承認を取得した「プロマック®顆粒15%」は、同国内において販売が開始されました。

「Z-100」は、平成24年度での終了に向けて子宮頸癌に対するフェーズⅢを引き続き進めております。「Z-360」は、欧州において膵臓癌に対するフェーズⅡの開始に向けた準備を進めております。また、国内におきましてもアジア同時開発を念頭に臨床試験開始に向けた準備を進めております。独立行政法人科学技術振興機構（以下、JST）の開発委託を受けたアレルギー性鼻炎治療剤「Z-207」は、JSTによるフェーズⅡ試験結果の評価に基づき、開発を中止いたしました。経口リン酸塩製剤「Z-521（予定製品名「ホスリボン®」）」は、くる病・骨軟化症を伴う低リン血症を適応症として製造販売承認申請中です。

コンシューマーヘルスケア製品につきましては、Tillotts社から導入した西洋ハーブ製剤「コルペルミン®」をはじめ、新製品の開発を進めております。

研究開発パイプライン

● 研究開発の状況

Ⅰ. 国内開発状況

（平成24年11月7日現在）

1）消化器系分野

開発段階	開発番号／一般名	開　発	適　応　症	作用機序及び特長	備　考
申請中	Z-338/ アコチアミド	共同開発 （アステラス製薬）	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品 予定製品名　アコファイド®
フェーズⅢ	Z-103/ ポラプレジンク	自社	味覚障害 プロマック®効能追加	亜鉛補充	導入品
フェーズⅡ	Z-206/ メサラジン	共同開発 （協和発酵キリン）	クローン病 アサコール®効能追加	pH依存型放出調整製剤	自社（Gr）品
フェーズⅠ準備中	Z-360	自社	膵臓癌	ガストリンCCK$_2$受容体拮抗作用	自社品 アジア同時開発

2）その他の分野

開発段階	開発番号／一般名	開　発	適　応　症	作用機序及び特長	備　考
申請中	Z-521	自社	くる病･骨軟化症を伴う 低リン血症	リン酸補充 未承認薬開発支援対象 希少疾病用医薬品	自社品 予定製品名　ホスリボン®
フェーズⅢ	Z-100	自社	子宮頸癌	免疫調節作用	自社品

Ⅱ. 海外開発状況

開発段階	開発番号／一般名	開　発	適　応　症	作用機序及び特長	備　考
フェーズⅢ （中国）	Z-206/ メサラジン	共同開発 （Tillotts Pharma）	潰瘍性大腸炎 アサコール®	pH依存型放出調整製剤	自社（Gr）品
フェーズⅢ準備中 （欧州）	Z-338/ アコチアミド	自社	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズⅡ終了 （北米）	Z-338/ アコチアミド	自社	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズⅡ準備中 （欧州,アジア）	Z-360	自社	膵臓癌	ガストリンCCK$_2$受容体拮抗作用	自社品

自社（Gr）品：自社グループオリジナル品

ご参考

フェーズⅠ（第Ⅰ相臨床試験）

動物実験を終えて効き目（有効性）と毒性が確認された「薬の候補」は、少人数の健康な方を対象に試験されます。安全性はもとより、どのくらいの時間で体内に吸収され、どのくらい体外へ排泄されるのかを調べます。

フェーズⅡ（第Ⅱ相臨床試験）

第Ⅰ相臨床試験で安全性が確認されたら、少数の患者さんで「薬の候補」の効き目（有効性）、副作用（安全性）、投与量、投与方法などの適切な使用方法を*プラセボと比較しながら調べます。

フェーズⅢ（第Ⅲ相臨床試験）

多数の患者さんに投与することで、「薬の候補」の最終的な効き目（有効性）、副作用（安全性）、および使用方法を調べます。その際、「薬の候補」と現在使われている他の薬あるいは、*プラセボと比較する試験を行います。多くの場合二重盲検比較試験と呼ばれる厳密な方法で実施されます。

※プラセボ　有効成分を含まず、外見や味などで「薬の候補」と区別がつかない偽薬

株主様ご優待のお知らせ

当社は、株主の皆様の日頃のご支援・ご協力への感謝の印として、株主優待制度を行っております。
A～E 5つのコースから、ご希望のいずれかをお届けいたします。
ご試用によって、当社の幅広い製品構成をご理解いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

Aコース

清涼飲料水・指定医薬部外品・特定保健用食品
「アルミ缶入りドリンク・ヘパリーゼ®Wセット」

Bコース

健康飲料
「コンドロビー® 濃縮液
潤甦®(じゅんこう)」2本セット

Cコース

美容・健康商品
「コンドロマックス®・アポスティー®セット」

Dコース

コンドロイチン配合夜間集中美容液
「ZZ:CC®(ジージー・シーシー)
アドソーブエッセンス(30g)」
2本セット

Eコース

上質なうるおいを実感する3品目
「IONAベーシックスキンケア3点セット」

財務諸表(連結)

四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円、端数切捨て)

科目＼期別	当第2四半期末 平成24年9月30日現在	前期末 平成24年3月31日現在
[資産の部]		
流動資産	**27,714**	**27,223**
現金及び預金	5,666	5,713
受取手形及び売掛金	13,387	12,605
商品及び製品	3,097	3,696
仕掛品	542	578
原材料及び貯蔵品	2,312	1,793
その他	2,730	2,857
貸倒引当金	△21	△21
固定資産	**46,925**	**47,977**
有形固定資産	**21,112**	**21,048**
建物(純額)	6,416	6,397
土地	11,623	11,561
その他(純額)	3,072	3,089
無形固定資産	**12,594**	**13,107**
投資その他の資産	**13,218**	**13,821**
投資有価証券	9,201	9,767
その他	4,079	4,119
貸倒引当金	△62	△65
資産合計	**74,640**	**75,201**
[負債の部]		
流動負債	**25,608**	**24,826**
支払手形及び買掛金	3,342	3,344
短期借入金	17,061	14,838
その他	5,204	6,643
固定負債	**17,841**	**19,880**
長期借入金	17,089	19,123
退職給付引当金	148	146
資産除去債務	72	72
その他	530	538
負債合計	**43,450**	**44,706**
[純資産の部]		
株主資本	**34,063**	**32,345**
資本金	**6,593**	**6,593**
資本剰余金	**5,414**	**5,414**
利益剰余金	**29,372**	**27,649**
自己株式	**△7,317**	**△7,312**
その他の包括利益累計額	**△3,019**	**△1,995**
少数株主持分	**146**	**144**
純資産合計	**31,190**	**30,494**
負債・純資産合計	**74,640**	**75,201**

四半期連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円、端数切捨て)

科目＼期別	当第2四半期累計期間 平成24年4月 1日から 平成24年9月30日まで	前第2四半期累計期間 平成23年4月 1日から 平成23年9月30日まで
売上高	**25,931**	**26,587**
売上原価	**9,099**	**9,369**
売上総利益	**16,833**	**17,214**
販売費及び一般管理費	**14,902**	**14,526**
営業利益	**1,930**	**2,688**
営業外収益	**269**	**201**
営業外費用	**178**	**278**
経常利益	**2,020**	**2,611**
特別利益	**1,193**	**56**
特別損失	**28**	**34**
税金等調整前四半期純利益	**3,185**	**2,632**
法人税等	**961**	**861**
少数株主損益調整前四半期純利益	**2,224**	**1,771**
少数株主利益	**5**	**20**
四半期純利益	**2,218**	**1,750**

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円、端数切捨て)

科目＼期別	当第2四半期累計期間 平成24年4月 1日から 平成24年9月30日まで	前第2四半期累計期間 平成23年4月 1日から 平成23年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	430	2,529
投資活動によるキャッシュ・フロー	△964	△1,086
財務活動によるキャッシュ・フロー	532	△1,079
現金及び現金同等物に係る換算差額	△45	298
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△47	661
現金及び現金同等物の期首残高	5,581	4,817
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,534	5,478

会社情報（平成24年9月30日現在）

会社概要

創立	1955年12月
資本金	6,593,398,500円
社員数	1,328名（連結）
主な事業内容	1. 医薬品、医薬部外品、試薬の製造、販売及び輸出入 2. 化粧品、健康食品、清涼飲料、衛生雑貨、医療機器の製造、販売及び輸出入

役員

代表取締役社長	伊部幸顕
専務取締役	斎藤武
専務取締役	遠藤広和
専務取締役	降旗繁弥
常務取締役	多胡充弘
常務取締役	菅幹雄
常務取締役	森山茂
取締役	大野晃
取締役	岸本誠
取締役	平賀義裕
取締役	石井克幸
取締役	加藤博樹
取締役	横手秀和
取締役	林恭弘
取締役	蟹口昭宏
常勤監査役	花田雅彦
常勤監査役	高見幸二郎
監査役	小森哲夫
監査役	中由規子

事業所

- 本社
- 札幌支店
- 仙台支店
- 東京支店
- 東京第3営業所
- 神奈川営業所
- 埼玉営業所
- 千葉営業所
- 北関東営業所
- 甲信越営業所
- 名古屋支店
- 大阪支店
- 大阪第2営業所
- 神戸営業所
- 京滋北陸営業所
- 中四国支店
- 岡山営業所
- 高松営業所
- 福岡支店
- 中央研究所
- 埼玉工場
- 筑波工場
- 東京物流センター
- 札幌物流センター
- 埼玉物流センター
- 大阪物流センター
- 九州物流センター

- 出張所　青森・宇都宮・関越・静岡・金沢・山口・米子・松山・高知・長崎・熊本・大分・鹿児島・沖縄

連結子会社　5社

Tillotts Pharma AG

資本金　164万スイスフラン（持株比率100%）
事業内容　IBD（炎症性腸疾患）及び IBS（過敏性腸症候群）治療剤の製造・販売

ゼリアヘルスウエイ株式会社

資本金　85百万円（持株比率100%）
事業内容　健康食品の仕入・販売

Biofac Esbjerg A/S

資本金　100万デンマーククローネ（持株比率85%）
事業内容　医薬品原薬を中心としたコンドロイチン硫酸ナトリウムの製造・販売

イオナ インターナショナル株式会社

資本金　2億円（持株比率100%）
事業内容　化粧品・医薬部外品の製造・販売他

株式会社ゼービス

資本金　1億80百万円（持株比率100%）
事業内容　保険代理業・不動産業など

株式情報（平成24年9月30日現在）

株式の状況

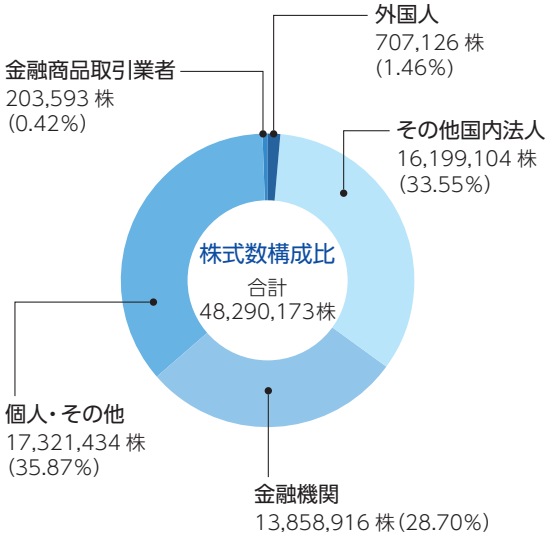
①発行可能株式総数	119,860,000株
②発行済株式総数	48,290,173株
③株主数	3,182名

大株主

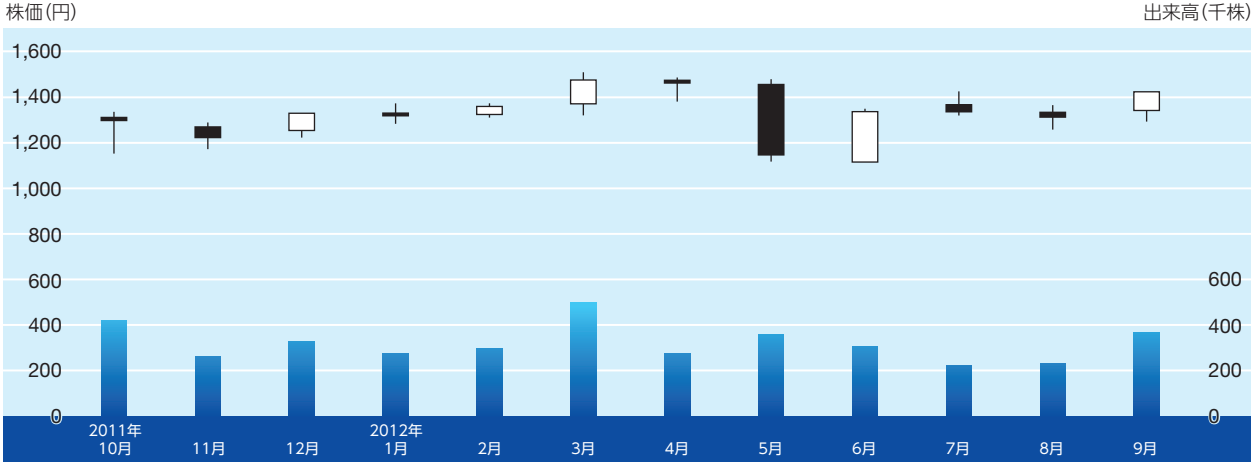
株　主　名	持株数(株)	出資比率(%)
有限会社伊部	5,510,770	13.3
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	1,971,000	4.8
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,915,500	4.6
森永乳業株式会社	1,854,741	4.5
ゼリア新薬工業従業員持株会	1,575,952	3.8
伊部幸顕	1,447,425	3.5
株式会社三井住友銀行	1,278,301	3.1
株式会社みずほ銀行	1,278,230	3.1
株式会社りそな銀行	1,074,896	2.6
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	858,691	2.1

(注)出資比率については、自己株式(6,948,316株)を控除して算出しております。

所有者別株式分布状況



株価および出来高の推移



株主メモ

● 事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
● 定時株主総会	毎年6月下旬
● 基準日	定時株主総会・期末配当　毎年3月31日 中間配当　毎年9月30日
● 株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
● 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
● 郵便物送付先 （電話照会先）	〒168−0063　東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部 電話　0120-782-031（フリーダイヤル） 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

●住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

健康づくりは幸せづくり
ゼリア新薬
ZERIA

ゼリア新薬工業株式会社 お客様相談室

〒103-8351 東京都中央区日本橋小舟町10-11
TEL 03-3663-2351（代表）　FAX 03-3663-2352
03-3661-2080
http://www.zeria.co.jp/

最新のIR情報は当社ホームページをご覧ください

当社ではスピーディーに正確な情報をご提供するため、ホームページを開設しております。株主・投資家の皆様向けのIR情報から最新のニュースまで幅広い内容となっておりますので、ぜひ一度、ご覧ください。

http://www.zeria.co.jp/

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

http://www.e-kabunushi.com
アクセスコード　**4559**

いいかぶ　検索

空メールによりURL自動返信
kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。（タイトル、本文は無記入）
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝（図書カード500円）を進呈させていただきます

e-株主リサーチ

※本アンケートは、株式会社 a2media（エー・ツー・メディア）の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。（株式会社a2mediaについての詳細 http://www.a2media.co.jp）
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただき、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」
TEL: 03-5777-3900（平日 10:00〜17:30）
MAIL:info@e-kabunushi.com